

〈人権啓発指導員の紹介〉

一般社団法人 高槻市人権まちづくり協会
〒569-0067
高槻市桃園町 1-1 エムビル 201
Fax. 072-674-7877
Tel. 072-674-7878

人権啓発指導員

野田 忠司 (のだ ただし)

〈プロフィール〉

- ☆1949年 愛知県小牧市で生まれる。
- ☆1959年 高槻市に転居。桃園小学校、第一中学校卒業。
- ☆1971年 高槻市の中学校教員（担当：理科）となる。
- ☆高槻市進路追指導事務局長（1983年）、高槻市同和教育研究協議会事務局長（1986年）、高槻市教育委員会同和教育指導室長（1998年）、高槻市教育委員会教育政策室主幹（2000年）となる。
- ☆テヘラン（イラン）日本人学校長（2002年）、高槻市立川西中学校長（2005年）
- ☆定年退職後： 高槻市教育委員会教育専門員（2009年）、富田青少年交流センターの教育相談員となる。
- ☆2014年 高槻市人権まちづくり協会人権啓発指導員となる。



〈セールスポイント〉

38年間の教員歴と定年退職後の教育相談、支援の必要な子どもへの学習支援などを通して、「どうすれば、子どもたちが豊かな人権意識を持てるか？」「どうすれば、子どもの学習意欲と学力を高めることができるか？」「どうすれば、もっと楽しく生きられるか？」にこだわって活動してきました。

あらゆることに変化が激しく、気の合う人とししか人間関係を築こうとしない人が増えるなど人間関係の希薄化が生きづらさを増しているようにも感じます。そのため、子育ても、教育も、自分らしく楽しく生きることも、非常に難しい時代を迎えていると思います。最新科学の研究成果や多様な情報を活用するとともに、これまでの多様な立場と経験を生かし、子育てや教育、自分の生き方に悩みと迷いを感じている人に対して、元気が出るような啓発をしたいと考えています。一緒に考えましょう。

これまでに講演した主なテーマ

1. 『これからの時代を生きていく子どもに必要な力とは？』
2. 『体罰や威圧に頼らない子育て ～生きる力を育むために』
3. 『子どもが意欲を持ち自立できる子育て ～コーチングを生かした子育て』
4. 『子育てが楽しくなるコツ ～自立した子どもを育てるために』
5. 『思春期の子どもと楽しく向き合うコツ ～自立した子どもを育てるために』
6. 『子どもを大切にすると、どんなこと？ ～子どもの自立を阻害しないために』
7. 『子どもの心に寄り添うために親ができること』
8. 『就学前の子どもに育てたい力とは？』
9. 『人権って何？ ～自尊感情を高めるために～』
10. 『どうすれば人権意識を高めることができるのか』
11. 『フィリピンのスラムでホームステイして見えてきたもの』
12. 『異文化の国イランで過ごして見えてきたもの』
13. 『イランから日本を考える ～異文化理解を深めるために』
14. 『日本って変な国？ ～日本の素敵どころ、弱いところ』
15. 『中東で見えてきた世界の課題、日本の課題』
16. 『イスラームにおける女性の人権』
17. 『価値観の多様化って、本当？ ～抛りどころとなる価値観がない時代』
18. 『同和問題の基礎知識とその現状、現在の同和問題について』
19. 『部落問題を理解するために ～人権意識を高める』
20. 『近年における平和教育』
21. 『人権教育に視点をおいた国際理解教育』
22. 『障がい児が校区の学校に通うことの意味について』
23. 『障がいのある人との出会いから広がる人間関係づくり』
24. 『だから男と女はすれ違う ～男脳と女脳の違いを理解して』
25. 『家族はなぜうまくいかないのか』
26. 『人間関係を上手に築く私メッセージの体験学習』
27. 『地域ぐるみの子どもの育て方 ～大人が変われば、子どもが変わる』
28. 『地域の子どものために大人ができること ～寛容性の高いまちづくりをめざして』
29. 『これからの社会を生きる子どもを育てるために地域ができること』
30. 『子どもの権利条約 ～子どもにやさしい町づくりとは？』
31. 『子育てや人間関係に悩む人への支援を進めるために』
32. 『最近の子どもの意識や価値観の変化と子育ての課題』
33. 『職場の円滑なコミュニケーションの取り方』
34. 『虐待の起こるメカニズムやセルフコントロールについて』
35. 『子どもの貧困って、何？ どうすれば良いの？』
36. 『発達障がいや課題のある子どもへの学習支援の現場から』
37. 『アドラー心理学を生かした指導の仕方』 (作成中)
38. 『自然のなかで自然と楽しく生きよう～自然から学ぶ人の生き方』